vinetur

EUの訂正通知により、食品汚染物質に関する法律において「アップルワイン」が「サイダー」に置き換えられた

9月の改正により、汚染物質の基準値は変更されなかったため、リンゴを原料とするアルコール飲料の分類や適合状況の記録に変更が生じる可能性がある。

2026年9月8日（火）



欧州連合（EU）は、EU域内の食品に含まれる特定の汚染物質の最大許容濃度を定める規則である欧州委員会規則（EU）2023/915の訂正書を公表し、一部のリンゴを原料とするアルコール飲料の法的表現に影響を与える飲料カテゴリーについて、特定の文言変更を行った。

この訂正は9月7日付の『欧州連合官報』に掲載され、2023年4月25日に採択され、2023年5月5日に公布された元の規則の条文を修正するものである。　訂正書によると、同規則内の「スピリッツ、アップルワイン、およびリンゴから製造された、あるいはリンゴジュースを含むその他の発酵飲料」

という表現が、「スピリッツ、サイダー、およびリンゴから製造された、あるいはリンゴジュースを含むその他の発酵飲料」に置き換えられた。

この変更は些細なものですが、規則（EU）2023/915は、食品中のさまざまな汚染物質について法的な最大許容限度を定めるEUの主要な措置であるため、重要な意味を持ちます。これらの許容限度値は、各国当局、検査機関、輸入業者、生産者、小売業者が製品の検査を行い、EU食品法への準拠を評価する際に用いられます。

この訂正は、新たな汚染物質の基準値を設定したり、新しい方針を発表したりするものではありません。その代わりに、ある製品カテゴリーで使用されている文言を修正するものです。実際には、EUの食品規則は正確な製品定義を通じて適用されるため、このような変更であっても依然として重要となり得ます。　用語の修正は、検査報告書、技術資料、規制当局への提出書類、および国境や市場での検査において、飲料がどのように分類されるかに影響を与える可能性があります。

飲料メーカーにとって、この更新は、製品の説明、分析証明書、または内部のコンプライアンスシステムで依然として旧来の表現が使用されている場合に、特に重要となる可能性があります。サイダー、スピリッツ、およびその他のリンゴ発酵飲料の生産者や流通業者は、使用している用語が修正後のEUの条文と一致していることを確認するために、文書を見直す必要があるかもしれません。ワインおよび関連する発酵飲料カテゴリーを扱う事業者にとっては、たとえ限定的な文言の修正であっても、コンプライアンス審査の際に表の読み方や、製品が適切な法的カテゴリーに分類される方法に影響を与える可能性があります。

元の規則である2023/915は、規則（EC）第1881/2006号に基づく旧枠組みに取って代わりました。これはEUの食品安全システムの重要な一部であり、汚染物質の最大許容値を単一の法令にまとめたものであるため、加盟国や企業によって広く利用されています。　このような規則に対する訂正は珍しいことではなく、公布後に生じた起草上の誤り、翻訳上の問題、あるいは調整が必要な用語を修正するために用いられる。

9月7日に公表された文書は、2023年規則の訂正書として発行され、官報（Official Journal）には引用番号OJ L, 2026/90742として掲載されている。通知とともに公表された法的識別子は、この訂正を規則（EU）2023/915に直接リンクさせている。

この修正は短いものですが、法律の専門家によると、企業がEUの表や附属書における正確な文言に依存している場合、このような訂正は実務上の影響を及ぼす可能性があるとのことです。　規制対象分野において、飲料カテゴリーに付けられる名称は、どの試験基準が適用されるか、税関や食品監督当局が貨物をどのように解釈するか、そして生産者がどのような証拠を記録として保管しなければならないかを決定づけることがあります。したがって、「アップルワイン」から「サイダー」への変更は、異なる言語や各国の表示慣行の下で活動する企業や執行機関にとって、曖昧さを軽減する可能性があります。

この訂正通知は、拘束力のある法令、改正、および訂正を公表するEUの公式法律データベース「EUR-Lex」を通じて発表された。EU域内でアルコール飲料を販売する企業は、こうした通知を注意深く注視していることが多い。なぜなら、技術的な更新でさえ、コンプライアンス手順、サプライヤーへの指示、および製品文書への調整を必要とする場合があるからだ。

今回の訂正通知には、汚染物質の許容限度自体に関する広範な変更は含まれていません。公表された改正は飲料カテゴリーの文言に限定されていますが、これは拘束力のある法的文書の一部を構成しており、EU全域の規制当局や市場関係者による今後の規制解釈において重要な役割を果たすことになります。